

命・くらし・文化支える「農」こそ基本に

山崎町長に代わって丸一年がたちました。世は「いざなぎ景気以来の好調」というものの、庶民にはトンと実感が湧いてきません。西澤議員はくらし応援の政治を求めて、議会内外でがんばります。12月議会の一般質問は11日です。質問通告者は藤堂議員、田中議員、西澤議員の3人のみ。

西澤議員の質問概要

- I、子どもをめぐる相次ぐ事件と「やらせ質問」で誘導した教育基本法改定についての見解を問う。
- II、19年度予算編成方針について地方自治体求められる基本姿勢と具体的課題 中心点に絞れば①②くらしと営業応援の予算に重点を。②「農」を基本に③「農」は農業者に限定された課題ではなく国民の命・文化・風土全般に影響するが。③子育て支援は経済支援を基礎において。④「同和」特別の終結と時期の明確化。
- III、市町合併に対する基本的見解と「勧告」の矛盾をどう考えるか
- IV、平成13年に設立の湖東広域一般廃棄物処理広域化促進協議会での検討の到達状況と問題点
- V、甲良町ふるさと交流村構想 道の駅設置を含むについて①農業者が計画策定の中心に位置づけられているか。②町民の意向確認アンケートは不可欠。③農協の関与なしでいいのか。
- VI、同和对策事業残地問題②公正さを欠いた財産管理・賦課手続きの内、若干の問題を問う
- VII、社協への人事管理について②福祉をめぐる厳しい状況の中、社協と福祉事業への信頼を確保する上で人の育成は最大の課題。一部職員への批判に行政としてどう応えるか。

12月議会 5日開会 みなさんのご要望・ ご意見お寄せ下さい

去る11月28日議会運営委員会が開かれ、12月議会の日程等が協議されました。

町長提案の議案等は、小泉内閣時代の医療改悪の一つであり、75歳以上が新規に加盟する「滋賀県後期高齢者医療広域連合」設立規約など21案件が予定されています。会期は事務局提案どおり、一般質問も含め11日を最終日とすることが決まりました。

西澤議員は新規の条例や「広域連合」設立など重要な課題があるため、提案、一般質問、討論・採決とそれぞれ日程を充分確保するのが議員の務めだとし、3回の本会議開催を提案。北川豊昭議員は「重要な議題があるとは思えない。事務局案で充分」などと発言。大野議員、大町議員も同調しました。

同委員会の協議冒頭に大野議員は「議長が辞めると聞いているが、その日程もどうするか相談しておく必要があるのでは」などと発言。議長交代が熱心に話し合われている様子をうかがわせました。宮本議長は、この間、議長おろしが執拗に繰り返されたが、進退は自分でキッチリと判断することなどを発言。同委員会としては、議長の辞表が提出された場合、対応することも確認しました。

お元気ですか のぶあきです

一粒のお「メ」から...

早いもので今年もあと1ヶ月。ポカポカ陽気ながかったので、こゝ急な冷え込みに冬支度にあわただしく、体調管理に余念が無いことと思います▼ここでクイズをひとつ。お米一粒で何粒の収穫ができるでしょう。今回はあえて答を明かさないのでおきましょう。▼実は、このあいだ党議員対象に農業問題の学習会があり、党の政策は語れても農業の実践を全く知らない議員がほとんど。そこで「ヨロハ」の「メ」から教えて欲しいと注文が出たことから、開口一番、北村講師が尋ねたのが先のクイズでした▼二人を除く参加者はあまだ、こうだと数字を並べましたが、見当が付きません。講師が正解を告げると「斉に驚きの声があがりました。麦一粒との比較も話され、ヨーロッパと比べ、アジアの人口が並外れて多いのは、人間の命を支えられるお米の繁殖力のお陰だと北村講師は強調。私は初めて聴く話に改めて「農」の大事さをおかみしました▼「農」を語るときは世界情勢を説明することからはじめるという。エコノミストの「迫る食糧危機」を解説。にわかには信じがたいことばかり。トウモロコシ、小麦が石油代替燃料であるエタノールの原料に回されるために価格の高騰の原因となっている。なぜか。こちらの方が「もうかる」から▼穀類中心の食生活から肉類を多量にとるとどうなるか。畜産物を1^キ生産するために必要なトウモロコシは鶏卵で3^キ、鶏肉で4^キ、豚肉で7^キ、牛肉は11^キといわれている▼耕せる農地がありながら「国際分業」の名の下に日本農業を破局に導く「自民党農政」転換はいよいよ待ったなしです。



甲良民報

2006年12月3日 343号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士 463
Tel.Fax38-4949

▼Eメール info@jcp-nobuaki.com

▼のぶあきホームページ

<http://www.jcp-nobuaki.com/>

いよいよ 9 日 (土) !!

あいとうマーガレットステーション成功の 秘訣をさぐるツアー

《主催：日本共産党 のぶあき後援会》

・・・甲良町での農業振興のヒントは？
「道の駅」建設推進ではなく、
「施設優先」から「農業支援」への転換求めて・・・

と き：12 月 9 日 (土)

集 合：10 時半・同ステーション田園生活館前→野村秀一郎さん
(同直売館運営協議会副委員長・東近江市議) の案内で施設
見学と講演。

昼食・懇談：12 時半から。2 時現地解散

※注 1：車の相乗りで参加ご希望の方は、

9 時半にアイム駐車場を**出発**。

※注 2：お弁当が必要な方は**必ずお**電話下さい (現地で実費集金)。

▶ **歓迎**：当日、飛び入り、後援会員外の参加自由。

連絡先：38-3875 (松元) 又は 38-4949 (西澤)

山崎町長の公約と言われる「甲良ふるさと交流村構想」が発表され、賛否両論の論議を呼んでいます。

「ツアー」を企画したのは、私たちが「道の駅」建設を推進するためではありません。「テント村 20 年」と言われる旧愛東町。道の駅を開設した初年度に 2 億円の売り上げ!! その秘訣は何だったのか・・・。

甲良町での農業振興のヒントを探っていただければ、と願って企画しました。ご希望の方はどうぞお気軽にご参加ください。

町議会議員 西澤のぶあき

(1)

B 版

1995 年 5 月 30 日 第 3 種郵便物認可

11 月 29 日 「しんぶん 赤旗」

いま言いたい 教育基本法



ドイツ文学翻訳家

池田香代子さん

いけた・かよこ 一九四八年東京生まれ、
口筆文芸研究家。九八年『猫たちの森』で第
一回日独翻訳賞受賞。著書に『世界がもし一
〇〇人の村だったら』(再版)、『11の約束』
ほん『教育基本法』(共著)など。翻訳に『や
さしいことは日本国憲法』など。

よほどのうそがなければ、戦争など起きません。満州事変、トンキン湾事件、イラク戦争。みんなそこから始まりました。よほどのうそがなければ、変える必要のない法律を変えることなどできません。

「改正」で教育現場 がんじがらめに

使って、私たちのまわりの心のない課題を関心があるがごとくクローズアップし、しかも変えたいとの私たちの意思があるがごとく傍聴した、ゆゆしき事件です。

教育にはさまざまな問題がありますが、教育基本法がその元凶ではありません。

教育基本法を変えたい政治家は、子どものモラル低下を嘆いてみえます。しかし、五十年前に比べて少年犯罪発生率は五分の一以下です。「子どもの規範意識低下」は教育基本法がらみのうそのなかでも、もっとも許せない大うそです。

やらせタウンミーティングが皮肉にも雄弁に先取りしているように、教育基本法を変えることを望む人々は、政治家や官僚が人々の心のありように無制限に介入し、そんな政治家や官僚に従順な、彼らの思惑を自分の考えであるかのような「態度」をとれる人

間をつくりたいのです。教育予算を非エリートとされた者にはできるだけ使わず、限られたエリートにのみ集中したいのです。それは政府案の「義務教育」の箇所から「九年」という文言が消え、「法律の定めるところにより」が新たに加わったことに現れています。

教育現場を評価していきなりもさらにがんじがらめにしようというねらいも顕著です。国連は「子どもの権利条約」にしたがい、五年の間隔をおいて二度も日本の子どもたちのストレスの重さを指摘し、改善を勧告しています。

相次ぐ自殺や自殺予告は世界的に見ても異常なストレスがあるところに、昨今の教育現場の問題が最後のひと押しとなった現象ではないでしょうか。ここに自殺予告は政治家や官僚に対する子どもたちの批判ではないでしょうか。